

空き巣などに遭わないために

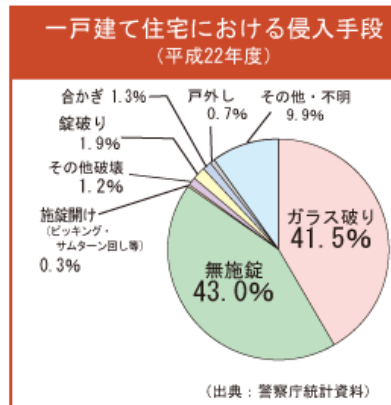
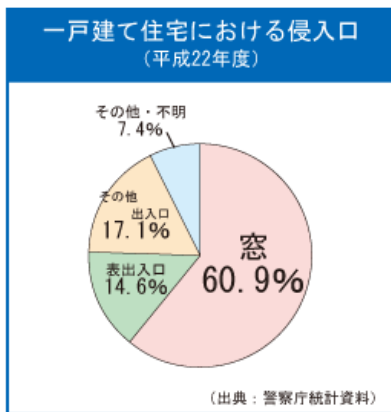
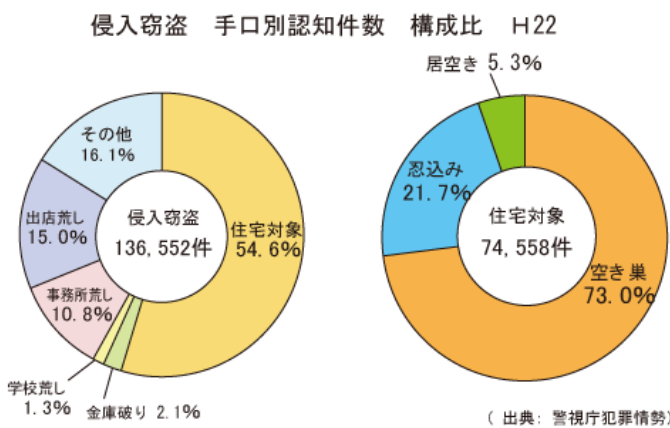
浦賀行政センター管内では、連合町内会を始めとする地域の諸団体の関係者で浦賀・鴨居地域協働推進協議会を立ち上げ、地域の抱える様々な課題とその解決策を検討してまいりました。

その中の防犯・防災部会で検討した結果、地域の防犯力を高めるために、町内会館・自治会館に様々な防犯グッズの見本を常設的に展示し、地域への普及を図るとともに、防犯に関する啓発活動などを行っていくこととしています。

現在、浦賀京浜、荒巻、高坂、新町、吉井、鴨居みかん台、中台、二葉一丁目、二葉二丁目、県営浦賀かもめ団地という10町内会館・自治会館に防犯グッズを常設展示しています。

是非、ご覧いただき、比較的少ない予算で各家庭にも設置できますので、導入をご検討ください。

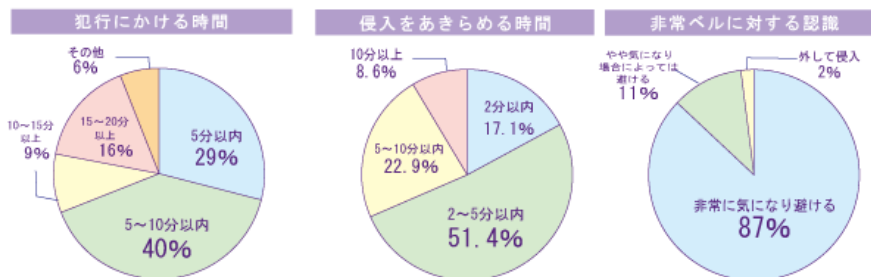
警察庁等の資料によると、住宅を対象とした侵入窃盗の内の73.0%が「空き巣」、21.7%が「忍び込み」という手口になっています。



そして一戸建て住宅における侵入口としては、60.9%が「窓からの侵入」であり、続いて14.6%が「表出入口からの侵入」となっています。

また、侵入手段の41.5%が「ガラス破り」、43.0%が「無施錠」となっています。

逮捕者への調査結果



出典：警視庁生活安全部資料/都市防犯研究センター資料

他方で、警視庁が実施した「捕まえた泥棒意識調査」によると、侵入のための所用時間が5分以上掛かると68.5% (17.1%+51.4%) が侵入を諦めるということです。

また、非常ベルに対する認識は、87%が「非常に気になり避ける」ということです。

これらの統計結果を踏まえて、前述の10町内会館・自治会館には、玄関ドアや窓からの侵入を抑止するための防犯グッズを展示しています。これらのグッズは、ホームセンター等で簡単に入手できるものであり、費用も10,000～20,000円程度で揃えられるものです。皆様のご家庭にも設置してみたらいかがでしょうか。

【1 玄関ドアからの主な侵入方法とそれらを抑止する防犯グッズ】

ピッキング

特殊工具を使用してカギを開ける。



(1) ピッキング

上段左の図は、特殊な工具を使って、玄関ドアの鍵を解錠する「ピッキング」という侵入方法です。

効果的な抑止方法は、ピッキングに強い鍵に取り換えたり、鍵を2カ所に取り付けることです。

また、上段右の写真のように、玄関ドアのノブの付近に**ピッキングセンサー**という器具を取り付けるのもピッキングがあった場合に警報ベルになるので効果的です。

いろいろな商品がありますが、**4,000～5,000円程度**で購入できます。

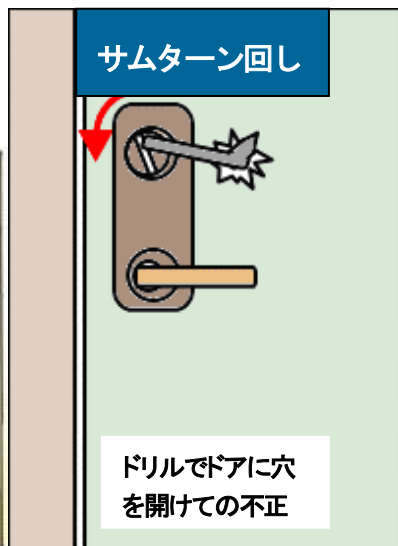
ガラス割り(玄関から)

玄関のガラスを破り、手を入れてサムターンを回して開ける。



ガラス破りによる不正開錠

サムターン回し



ドリルでドアに穴を開けての不正

(2) サムターン回し

中段左のイラストは、扉や枠側にガラスが入っている場合に多くある「ガラス割り」です。ガラスを割っての侵入は、時間もかからず大掛かりな道具も必要ないため、空き巣の被害の中では常にトップに位置する手口です。「ウチのガラスは網が入っているから平気」と勘違いされている方が意外と多いのですが、網入りのガラスは強度的には普通のガラスと何ら変わりません。ガラスの中に封じ込まれている網は、万が一ガラスが割れた時に落下するのを防ぐためのもので、防犯ガラスとは全く種類が異なるのです。

続いて中段右のイラストですが、鍵のすぐそばに2～3cmの穴をドリルで開けて特殊な針金等を差し込み、中のサムターンを回して鍵を開け、侵入する「サムターン回し」という犯罪手口です。

近年、ピッキングを防止する鍵が増えてきたため、それに代わる手口として被害が急増しています。「そんなことをしたら大きな音が出て、周りに気付かれるのでは？」と思うかもしれませんが、手動式のドリルを使えば電動ドリルほど大きな音も出ず、一般的な住宅やオフィスの鉄やアルミのドアでしたら、ほんの数分で穴が開いてしまいます。

ご自宅の周りでも、家屋のちょっとした修繕などが行われていませんか？車の音や生活音などに紛れると、意外と周りにも気付かれずに犯行が行われてしまうのです。これ以外にも、来訪者を確認するための覗き穴やポストなどから金具を差し込むという手口もあるので、たとえ扉や枠にガラスが入っていないからといって、絶対に安心というわけではないのです。

これらの侵入方法を防ぐために、**サムターンカバー**などを取り付けるのも一つの方法です。いろいろな商品がありますが、**300～800円程度**で購入できます。



(サムターンカバー)

【2 窓からの主な侵入方法とそれらを抑止する防犯グッズ】

ガラス割り(窓から)

掃き出し窓のガラスを破り、手を入れてクレセントを回して開ける。



次に、空き巣が窓から侵入する際の代表的な方法を紹介してみたいと思います。

(1) こじ破り

ドライバーなどの比較的小さい道具を窓ガラスと窓サッシの間にねじ込むことで、大きな音が出ないようにしてガラスに小さな穴をあけます。その穴から指を入れてカギや錠を開けて侵入する手口です。

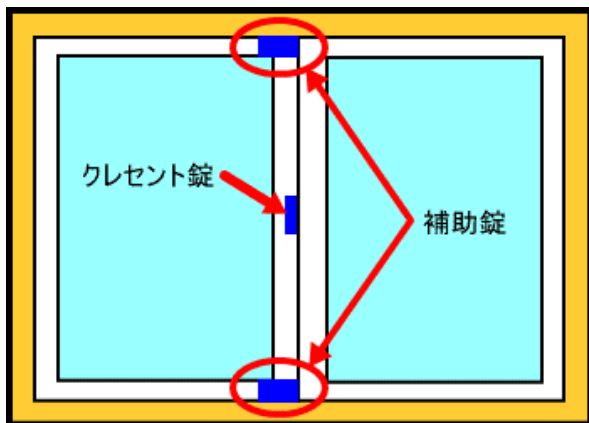
(2) 打ち破り

音が出ることをあまり気にせず、バールやハンマーなどの大型の道具を使ってガラスを破壊し侵入するとても乱暴な方法です。テープを貼って手が入るくらいの穴を開ける方法から、そのまま侵入できるくらいの大きな穴をあける方法まであるそうです。テープを貼る場合は「貼り破り」とも言うそうです。

(3) 焼き破り

ライターやバーナーなどを使ってガラスを熱し、その部分に霧吹きなどで水をかけることによって急激な温度変化を起こしてヒビを入れ割る方法です。ほとんど音が出ないようで、特殊な道具を使わないため、怪しまれにくい方法だそうです。

この3通りがとても多く使われる方法だそうです。その他にもガラスカッターなどを使い、ガラスを切り取ってしまう「切り破り」や窓に石を投げつけて割る「投石破り」と呼ばれる方法などもあるようです。



空き巣は侵入に時間が掛かることを嫌います。

簡単には侵入させないための防犯グッズとして、外からの物理的な圧力や破壊力に対して強く、また難燃性である高性能な**防犯フィルム**を張り付けるのも効果的です。**1,000円程度**で購入できます。



また、アルミサッシ窓などに付いているクレセント錠のほか、窓の上下に補助錠などを取り付けるのも効果があります・

いろいろな商品がありますが、**100~500円程度**で購入できます。また、多少高くなりますが、錠付きの補助錠などもあります。



更に、**防犯アラーム**なども効果的です。

大きく分けると、開閉感知型と振動感知型の2種類がありますが、中には1台の器具で開閉感知型と振動感知型の両方の機能を持ったものもあります。

窓の開閉や異常な振動があると大きな音を出して知らせてくれる装置です。窓に直接貼る薄型のものや錠部分に取りつけるものまでタイプは様々です。

ただでさえ、侵入に時間が掛かる防犯フィルム付きの窓に設置したら、空き巣も諦めてくれそうですね。電池式のものが多いようなので電池切れには気をつけましょう。

いろいろな商品がありますが、開閉感知型の物と振動感知型はそれぞれ**1,000円程度**、両方の機能を持った物は**2,000円程度**で購入できます。

【3 自宅周りに設置することによって侵入を抑止する防犯グッズ】



ブロック塀や垣根などによって、家の周りに道路から見渡せないような死角があると泥棒が潜みやすく、侵入されやすくなります。

このような場合には、アルミフェンスに変えるなど道路からも見通しのきくような工夫が必要です

また、動くものに反応し、ライトが点灯する**センサーライト**を死角になる場所などに設置するのも効果があります。

いろいろな商品がありますが、**3,000~10,000円程度**で購入できます。



防犯砂利は、普通の砂利よりも踏んだときに大きな音を出すためのものです。空き巣を初めとする不法侵入者が一番嫌うものは大きな音です。

防犯砂利は、歩かたびにジャリジャリと音がして侵入者を知らせることができ防犯となります。音も鳴らさないようにそっと歩いても音が出るように工夫されており、防犯ジャリを踏むと約 **72db** (デシベル) の音が発生するそうです。

72db というのは携帯電話の着信音と同じ大きさなので、当然音が気になり、不法侵入者も嫌がります。

この防犯砂利を家に入ってこれそうな窓の下や近所からの死角となる場所に敷き詰めておくことで効果的な防犯対策となります。

皆さんも一度試してみてくださいはどうか？

防犯砂利は、自宅の庭の景観をきれいにしたいけど、防犯もしたいという方にもピッタリです。

防犯砂利を敷いただけでは万全ではないので、防犯カメラ、防犯センサー、防犯ブザーや二重ロックなどと組み合わせて防犯に役立ててください。

(文 責) 浦賀・鴨居地域協働推進協議会防犯防災部会

(参考文献) 警察及び防犯グッズ関連のホームページなど

【事務担当】 浦賀行政センター コミュニティ担当 (電話) 046-841-4155